新規事業採択時評価結果（令和２年度新規事業化箇所）

担　当　課：道路局　環境安全・防災課
担当課長名：渡辺　学

事業の概要

事業名	地高ＩＣアクセス 一般県道　新巻市城線　新巻工区	事業区分	一般県道	事業主体	群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡東吾妻町新巻 至：群馬県吾妻郡東吾妻町新巻			延長	０．７km

事業概要

一般県道新巻市城線は、吾妻川を渡河し、中之条町と東吾妻町を結ぶとともに、吾妻地域の東西方向の幹線道路となる国道３５３号と（主）渋川東吾妻線を結ぶ路線である。

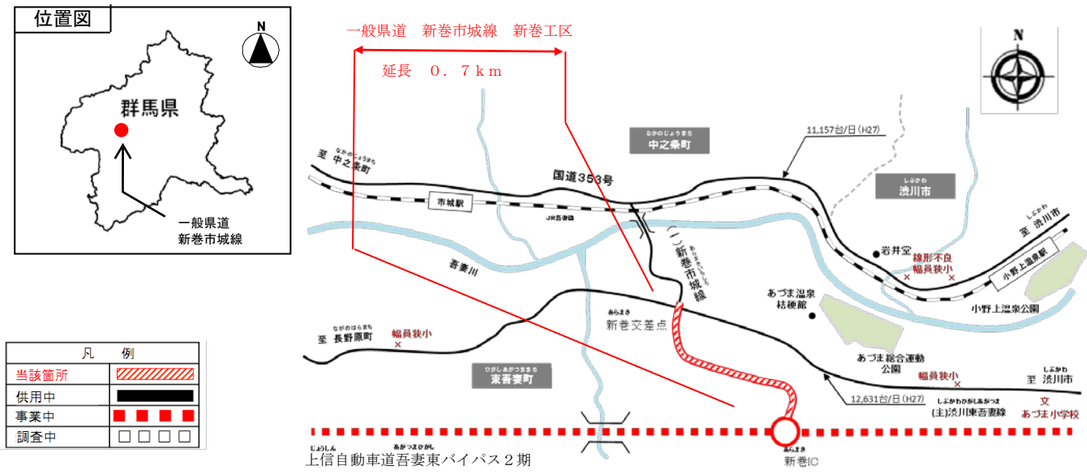
本路線は、現在整備中の上信自動車道吾妻東バイパス２期工区の整備にあわせて、新巻ＩＣと、中之条町、高山村方面及び平行する東西方向の幹線道路を結ぶアクセス道路を整備するものである。

事業の目的、必要性

当該箇所の道路勾配の改善や幅員狭小区間改良し、地域高規格道路上信自動車道（新巻ＩＣ）へのアクセス道路として一体となって整備することで、地域経済の活性化や医療機関への搬送時間短縮などに資する道路である。

全体事業費	約１２億円	計画交通量	３，７００台/日

事業概要図



関係する地方公共団体等の意見

東吾妻町、中之条町から早期事業化の要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

群馬県の公共事業事前評価により、新規事業化が妥当と判断されている。

事業採択の前提条件

便益が費用を上回っている。
地元自治体より早期事業化の要望を受けており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	Ｂ／Ｃ	４．５	総費用　約１０億円 事業費：約9.5億円 維持管理費：約0.7億円	総便益　約45億円 走行時間短縮便益：約34億円 走行費用減少便益：約9.3億円 交通事故減少便益：約2.5億円	基準年 令和元年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=4.0　（交通量　−10%）	B/C=4.9　（交通量　+10%）	
		事業費変動	B/C=4.1　（事業費　+10%）	B/C=4.9　（事業費　−10%）	
		事業期間変動	B/C=4.3　（事業期間　+20%）	B/C=4.6　（事業期間　−20%）	

事業の影響		評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	○	新巻交差点において発生している慢性的な渋滞が緩和する。
		事故対策	◎	周辺の現況不良区間の回避や歩道空間の整備により、安全性が向上する。
		歩行空間	◎	歩道が整備されることにより、歩行者の安全な通行が確保される。
	社会全体への影響	住民生活	◎	新巻ＩＣを利用することで、東吾妻町周辺から前橋市内の中核医療施設への搬送時間が短縮する。
		地域経済	◎	周辺地域は温泉等の観光地が数多く立地しており、移動時間短縮効果により、観光地間の周遊性が向上する。
		災　害	○	緊急輸送路である国道353号と上信自動車道とのアクセス性が向上し、緊急輸送ネットワークの強化が図られる。
		環　境	―	注目すべき影響はない。
		地域社会	◎	周辺観光地等へのアクセス性が向上することで地域の活性化が図られる。
事業実施環境			○	地元自治体（東吾妻町、中之条町）から早期事業化の要望を受けている。

採択の理由

事業主体である群馬県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が４．５と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、周辺の地域経済の活性化、医療機関への搬送時間短縮効果、安全性の向上などが期待される等、当該事業の整備の必要性・社会全体の効果は高いと判断される。

以上により、本事業は令和２度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。